

環境から温泉のことを考える

かごしま温泉シンポジウム

入場
無料

涌出量・源泉数は全国でもトップクラスのかごしまの温泉。

活火山も多く点在する、まさに地球の恵と躍動を体感できる地域です。

そのかごしまの温泉を、地質・環境・文学といったいろいろなキーワードで見つめなおし、温泉の楽しみ方を様々な角度から眺めてみたいと思います。

■ 日時 平成20年2月3日(日)
14:00~16:30(予定)

■ 会場 ホテル吹上荘



ホテル吹上荘
鹿児島市照国町18-15
099-224-3500

なるべく公共交通機関等
をご利用してお越しください。
(周辺に有料駐車場有)



プログラム

① 基調講演 14:10-15:00

「地球の恵としての温泉をみつめる」 大木 公彦 氏 (鹿児島大学総合研究博物館館長)

② 報告 15:10-15:30

「こんなに面白い鹿児島の温泉」 東川 隆太郎 (かごしま探検の会代表理事)

③ シンポジウム 15:30-16:30

「鹿児島の温泉を様々な角度からみる」

シンポジスト 大木 公彦 氏

三嶽 公子 氏(NPO法人かごしま文化研究所副理事長)

浜本 奈鼓 氏(NPO法人くすの木自然館専務理事)

コーディネーター 東川隆太郎

* どなたでも参加できます。お誘いあわせの上ご来場ください。

地理・歴史からまちづくりを考える

NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会

事務局: 〒892-0815 鹿児島市易居町1-2-6F ソーホーかごしま18号室

TEL&FAX 099-227-5343

E-mail info@tankennokai.com URL http://www.tankennokai.com

この事業は2007年度の地球環境基金の助成を受けて行うものです。

